

## 2022 年産水稻の生育状況

普通期： 稈長は‘にこまる’で平年より長く、‘ヒノヒカリ’でやや長かった。‘あきたこまち’‘ひめの凜’では平年並であった。穂数についても‘にこまる’で平年より多く、‘ヒノヒカリ’でやや多く、‘あきたこまち’‘ひめの凜’で平年並であった。

※愛媛県農林水産研究所における水稻の生育観測結果です。

### 2022 年産水稻の作況試験生育調査結果 (9 月 12 日現在)

< 普通期 >

耕種概要 ( 移 植：6 月 16 日、稚苗 3 本植、栽植密度 15.2 株/m<sup>2</sup> (30cm×22cm)  
 施肥量：基肥 窒素 6 kg/10a、穂肥 窒素 4 kg/10a )

表 1 水稻作況調査データ(普通期)

項 目 (調査日)	あきたこまち		ヒノヒカリ		にこまる		ひめの凜		
	2022年	平年値	2022年	平年値	2022年	平年値	2022年	2019～20年	
移植30日後 (7月15日)	草丈(cm)	55.5	49.9	51.1	46.6	56.3	54.6	46.3	45.6
	茎数(本/m <sup>2</sup> )	280	246	432	282	468	313	419	285
	葉色(SPAD値)	44.5	42.7	42.8	41.9	41	37.4	39.7	41.6
移植40日後 (7月25日)	草丈(cm)	77.9	72.8	73.4	63.7	82.7	72.7	66.3	62.0
	茎数(本/m <sup>2</sup> )	305	296	419	351	416	352	390	354
	葉色(SPAD値)	43.6	41.4	40.7	39.0	39.4	37.0	36.3	37.2
移植50日後	草丈(cm)	-	-	82.5	75.2	92.1	83.1	75.4	72.5
	茎数(本/m <sup>2</sup> )	-	-	385	344	398	354	367	360.2
	葉色(SPAD値)	-	-	33.2	35.2	35.5	33.7	33.2	33.1
出穂期	草丈(cm)	106.9	103.8	116.8	106.6	126.3	117.7	112.3	107.3
	茎数(本/m <sup>2</sup> )	284	305	387	313	339	291	315	317
	葉色(SPAD値)	37.7	39.3	32.6	35.5	34.6	36.8	32.6	37.0
幼穂形成始期	7/21	7/22	8/4	8/4	8/10	8/7	8/10	8/7	
出穂期	8/7	8/7	8/24	8/25	8/28	8/28	8/29	8/28	
成熟期	9/9	9/12		10/4		10/7		10/5	
稈長(cm)	88	86	88	83	99	89	86	83	
穂長(cm)	20.3	20.0	19.7	20.2	19.5	20.2	21.4	21.3	
穂数(本/m <sup>2</sup> )	290	302	361	329	347	294	319	315	
1穂粒数		93		95		99		85	
登熟歩合		72		73		79		75	
千粒重(g)		22.7		21.9		23.0		23.2	
精玄米重(kg/a)		49.3		53.3		57.6		54.4	
玄米タンパク含有率(%)		7.4		7.1		6.7		6.6	
整粒割合		78		74		71		79	
検査等級		1.8		1.5		1.4		1.3	
倒伏程度		0.3		0.2		0.3		0.0	

※平年は過去 5 年 (2017～2021 年) の平均値。2016～2018、2020、2021 年の窒素施用量(10a)は基肥 6 kg、穂肥 4 kg。  
 2019 年のみ基肥 4 kg、穂肥 4 kg 施用。ひめの凜は 2019 年度から調査開始。  
 あきたこまちは移植 50 日後調査は出穂期に相当。